

<活動報告書>

フリガナ	ダイ13カイコンクリートコウシエンジッコウイインカイ	
①団体名・学校名	第13回コンクリート甲子園実行委員会	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	香川県立多度津高等学校 教諭
	TEL	0877-33-2131
E-mail		
③申請テーマ	土木材料(とりわけ、コンクリート材料)への興味・関心から、将来、土木分野への就業を促す。	
④活動期間	2019年 6月 ~ 2019年 12月	
⑤活動内容を記載	<p>コンクリート甲子園を通して、身近な建設部材であるコンクリートの特性や配合設計の基礎知識を身に付けさせる。また、コンクリートを作製することで、実際のコンクリート材料に触れ、材料の選択や配合設計、練り混ぜ等を自らがを行い、土木技術者としてフレッシュコンクリートの基礎的な感覚を身に付けさせる。そして、本大会に参加することにより、参加生徒同士の交流を深めるとともに他校の工夫や発表等を聴き、幅広い考え方を身に付けさせることを目的としている。</p> <p>本大会は、主催者の変更はあったものの、今年度で13回目の開催となる。本実行委員会は、第12回大会時に設立され、今年度も回を重ね継続する。</p> <p>今年度の参加チームは、北は北海道、南は九州まで全国にわたり30チームのエントリーがあった。毎年順調に参加チームが増加し、今後もさらに増え、より盛大に開催されることが予想される。</p> <p>毎年、競技内容を見直し、大会がマンネリ化しないように工夫を凝らしている。それに対して、参加チームも熱心に大会準備を行い、コンクリート技術においてもプレゼンテーション技術においても、年々スキルアップが見られ、各方面から注目を集めている。</p> <p>今後、さらに発展が見込まれるため、健全な運営を行うことを考えると、貴基金のご協力が不可欠である。</p> <p>活動内容については、添付資料のとおりである。</p>	
⑥活動費用合計	920,000円	
⑧別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

<活動状況写真>

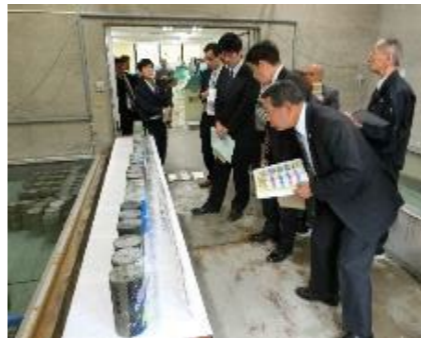
【写真1】





(状況説明)
予選に先立ち、実行委員による競技内容の確認を行った。予選は、香川県生コンクリート工業組合技術試験センターにおいて、「強度部門」のみの審査を厳正に行い、エントリーされた30チームから、本選に進む10チームを選出した。

【写真2】





(状況説明)
本選には、予選を通過した10チームが香川県生コンクリート工業組合技術試験センターに集まった。本選は、テーマに沿ってコンクリート供試体にペイントしたデザインを競う「デザイン部門」から行われ、審査委員が厳しく審査を行った。「デザイン部門」優勝の供試体を添付する。

【写真3】





(状況説明)
「デザイン部門」審査の後、「強度部門」と並行して「プレゼンテーション部門」が行われた。決められた審査順に従い、4名の審査委員の前で供試体作製過程での創意・工夫した点をプレゼンテーションし、その後、審査委員からの質問に答えていった。3部門の合計得点で「総合部門」の順位を決定し、上位入賞チームの表彰を行った。